

駒澤大学2-1東京ユナイテッド



**監督「彼が取って良かった」
試合を決めたのは室町 V ヘッド！**

延長戦突入直前の…

天皇杯への戦いは最終局面まで来た。この日は社会人関東1部の東京ユナイテッドと対戦。駒大は鈴木隆作、幸野高士を久しぶりにスタメンに起用。4年生を全体的に多く並べて臨んだ。

試合はファーストプレーから動く。ハイボールの競り合いの際に室町と交錯した田鍋陵太が負傷退場。会場は騒然となるが、その後は両者の持ち味が発揮される展開に。

駒大の「強さ」が相手を脅かし、東京ユナイテッドの「巧さ」がそれに対抗してくる。迎えた24分、この試合のスコアを動かしたのは、駒大の「強さ」を象徴する男の一撃だった。左CKのボールが溢れると、これを拾ったのは星。うまくトラップで自分の前に落とし、右足を振り抜いて先制点を挙げる。

しかし、終盤には相手に細かく繋がれる戦況に。39分には小口大司の巧みなポストプレイから佐々木竜太に押し込まれてしまい、1-1の同点で折り返す。

後半に入ると、相手の巧みな個人技と素早い攻撃に手を焼く駒澤イレブン。ここで秋田監督は坂本、葉真寺を立て続けに投入して攻撃の再活性を図る。すると、葉真寺はセカンドボールの回収から果敢にシュートにいく姿勢を見せ、坂本はサイドで鋭い個人技から突破を仕掛けた。

ここで輝きを放っていたのは右サイドハーフにポジションを移した中原だった。両足から繰り出される正確なクロスで相手ゴールを脅かしていく。

そして89分。均衡がついに破られた。中原の右CKを、一步下がりがながら頭で合わせたのは室町。これがゴールに吸い込まれて土壇場で勝ち越しゴールを挙げた。

東京ユナイテッドの最後の反撃も角井のスーパーセーブでしのぎ、ここでタイムアップ。見事、駒大が東京制覇を果たした。

試合後はチーム全員が笑顔で優勝の喜びを味わった。日本サッカーに風穴をあけるべく、次なる戦いへ挑む
(宮下 響)

4月22日 13:30 味の素フィールド西が丘	
駒大 2 (1-1) 1 東京U (1-0)	
【前半】 24分:駒星 39分:東佐々木	【後半】 89分:駒室町
KOMAZAWA GK 1 角井 栄太郎(4) DF 5 鈴掛 涼(4) DF 3 星 キョーファン(3) DF 4 伊勢 渉(4) DF 28 真下 瑞都(2) MF 6 大場 淳矢(4) MF 13 鈴木 隆作(4) (→88分 16 葉真寺 孝弥(2)) MF 23 幸野 高士(4) (→69分 14 坂本 和雅) MF 10 中原 輝(4) FW 11 室町 仁紀(4) (→90+2分 2 須藤 皓生(4)) FW 9 高橋 潤哉(3) S U B GK 21 松村 優太郎(3) MF 7 安藤 翼(4) MF 12 高田 和弥(4) MF 24 宮崎 鴻(1) MANAGER 秋田浩一	MUSASHINO GK 31 杉山 哲 DF 5 香西 克哉 DF 20 附木 雄也 DF 25 黄 大城 DF 15 田鍋 陵太 (→5分 11 川越 勇治) MF 4 保坂 一成 MF 6 黄 大俊 MF 7 伊藤 光輝 MF 24 小口 大司 (→55分 8 山田 武典) FW 9 佐々木 竜太 FW 13 能登 正人 S U B GK 21 神倉 宏 DF 2 井上 大 DF 27 平尾 柊人 FW 10 永里 源気 MANAGER 福田 雅
警告(C) / 退場(S)	
1分:駒室町	